



JNC CORPORATION

公司简介

CREATING JOY WITH CHEMISTRY

持続可能で豊かな暮らしを、思い描くよろこび。
 地球にやさしい環境を、つくるよろこび。
 変化し続ける時代のニーズに技術と創造力で、応えるよろこび。
 私たちは化学で人々のよろこびをつくります。

私たちJNCグループは1906年に曾木電気株式会社を創業し、水力発電によって生み出される再生可能エネルギーを電気化学分野へ展開、国産窒素肥料を開発して以来、わが国化学産業界のパイオニアとして、常に社会の発展に貢献してまいりました。
 地球環境と調和したものづくりを行っていくこと、豊かな暮らしを実現するためお客様の課題や社会ニーズを解決していくこと、そして、世界で活躍できる優秀な人材を育て、持続可能な社会を実現していくことが私たちの変わらぬ使命です。

JNC集团的历史可上溯到1906年创业的曾木电气株式会社。创业以来，公司将通过水力发电生成的可再生能源拓展到电气化学领域，致力于国产氮肥的研发。多年来，公司作为日本化工产业界的领航者，为推动社会发展做出贡献。

我们坚持不变的使命是：开展与地球环境相协调的生产活动；努力解决客户的课题和社会需求，力创富庶的生活；培养活跃于国际舞台的优秀人才，实现可持续发展的社会。

デジタル技術の進歩とともに私たちを取巻く環境も大きく変わり、どこまで時空的な広がりを見せるのか期待は膨らむばかりですが、複雑さを増し、激変していくいかなる環境においても「優れた技術で社会の進歩に貢献する先端化学企業」であり続けるために、当社が所有する知識、技術、そして人材を総動員して皆さまのご期待に応えてまいります。

随着数字技术的进步，我们所处的环境也发生了巨大的变化。公司将在何种程度上得到进一步发展？梦想与期待在我们心中跃动。在任何纷繁复杂、瞬息万变的环境中，我们都将充分利用既有的知识、技术及人才，保持“以优良技术为社会进步做贡献的先进化工企业”这一地位，不辜负各位的期待。

すべての皆さまの「よろこびを化学する」JNCグループをこれからもどうぞよろしくお願い致します。

“以化学促幸福”，这是JNC集团秉持的理念，也是对所有客户的承诺。在今后的工作中，诚盼得到各位一如既往的协助和配合。

よろこびを化学する。

以化学促幸福！

描绘可持续的富庶的生活时，感受到的幸福
 创造关爱地球的良好环境时，感受到的幸福
 凭借技术和创造力回应不断变化的时代需求时，感受到的幸福
 —我们珍惜当下的幸福，努力促进化学造福人类。



代表取締役社長
 CEO & President
 山田敬三 Keizo Yamada

機能材料

功能材料

有機EL、液晶、
プリントド・エレクトロニクスなど、
JNCの技術力を駆使した製品で、
社会の進歩に貢献します。

通过提供有机EL、液晶、印刷电子等
运用了JNC技术的产品，
为社会进步做贡献。

液晶材料 [液晶事業部]

液晶

液晶とは結晶の配列秩序と液体の流動性をあわせ持つ物質のことであり、シャッターのような機能で光を通す量をコントロールすることができます。液晶ディスプレイは、白色光源やRGBカラーフィルターと液晶を組み合わせでカラフルな画面を表示しています。

当社では、お客様に使用していただく液晶材料の高効率化・低コスト化などに取り組みつつ、厳密な品質管理のもとで製造した製品を提供しています。また、新規な液晶材料の開発を進め、さらなる高品位な表示を可能にする製品の提供を目指しています。

配向膜

液晶ディスプレイにとって配向膜は必要不可欠なものです。配向膜は液晶分子を液晶ディスプレイの動作モードに適した配向や傾き(プレチルト角)を制御することが役割です。当社の配向膜は、その配向安定性とプレチルト角安定性に優れ、高表示品位と高信頼性を達成します。

カラーフィルター用保護膜(オーバーコート)

カラーフィルター用保護膜はカラーフィルターからの不純物の透過を防ぐ役割や、カラーフィルターを平坦化させる役割があります。当社のオーバーコート材料はポリイミドとエポキシの長所を組み合わせた材料であり、高い透明性・高い耐熱性を持つ保護膜を作成することができます。塗布後に加熱することで硬化し、膜を形成することができます。パターンニングをしないベタ膜を作成するのに適します。

情報材料 [情報材料事業部]

有機EL

有機EL(Electro-Luminescence)とは電流注入により有機材料が発光する現象のことです。この現象を応用することにより、薄型・軽量・高速応答・高コントラストなどの優れた特徴を持つ有機ELディスプレイが実用化されました。有機ELディスプレイの更なる高性能化には、赤色(R)や緑色(G)よりも開発難度が高い青色(B)有機EL材料の技術革新が必要と言われており、優れた青色発光特性を持つ当社の青色有機EL材料が開発以来大きな注目を集めています。当社の青色有機EL材料はスマートフォン用パネル用途に使用されており、これからも永くお客様に喜んでいただける『有機ELのJNC』を目指して、より高性能な有機EL材料の開発を精力的に進めてまいります。

プリントド・エレクトロニクス

感光性材料やポリイミド材料の開発で培った技術力と知見をもとに、次世代の製造技術として注目度の高いインクジェット印刷、フレキシ印刷およびスクリーン印刷等のパターンニング可能な印刷法に対応した光硬化性材料やポリイミド材料を開発・製造しています。適用先としては、プリント配線板やタッチパネルに用いられる絶縁材料、コンデンサや半導体製造過程に使用できるプロセス材料が挙げられます。光硬化性材料は用途に応じて様々な機能を付与できる上に、溶剤を含まない材料であるため、適用先の基材へダメージを与え難いことや環境負荷が小さいことに特徴があります。ポリイミド材料は固形分の高濃度化による厚膜印刷が可能である事に加え、高い耐熱性と絶縁性を有することにも特徴があります。

有機シリコン製品

有機シリコン製品は3つの製品群からなります。当社独自のかご型シロキサンから誘導される超耐熱・高透明材料(Sila-Dec®)はLED周辺材料へ使用されています。卓越した分子量制御技術により櫛形ポリマー設計を可能にするシリコンマクロモノマー(サイラプレーン®)はコンタクトレンズや機能性コーティング剤等へ、高度精製技術でその品質を需要家から高く信頼されるシランカップリング剤(サイラエース®)は半導体やデバイス関連部材に使用されています。

液晶材料 [液晶事業部]

液晶

液晶は既具有結晶秩序又具有液体流動性的物質，能够以类似于快门的功能来控制所通过的光量。液晶显示器是将白色光源和RGB彩色滤色膜与液晶组合到一起显示色彩鲜艳画面的机器。

对于供客户使用的液晶材料，本公司在致力于到达高效率、低成本等目标的同时，严格控制质量，生产可靠产品。而且，我们还积极开发新的液晶材料，致力于向客户提供能够显示更高画质的产品。

配向膜

配向膜对于液晶显示器来说是必不可少的。配向膜的作用是将液晶分子控制成适用于液晶显示器的操作模式的取向和倾斜度(预倾角)。本公司的配向膜具有出色的配向稳定性和预倾角温度性，实现了高品质图像质量和可靠性。

OC

OC主要作用为防止色阻异物渗透，是色阻平坦化等。JNCのOC材料结合了聚酰亚胺和环氧树脂的优点，具有高透明、耐高温的特性。涂敷后加热，硬化成膜。(适用于与非定位涂敷使用)

信息材料 [信息材料事业部]

有机EL

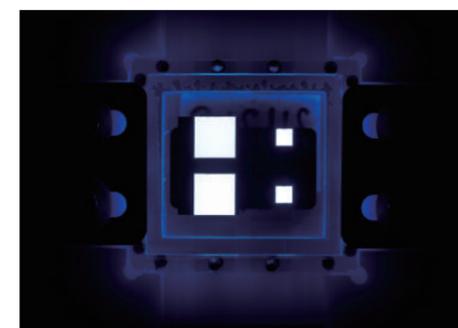
有机EL(Electro-Luminescence)就是有机材料因电流注入而发光的现象。有机EL显示器通过应用这种现象而具有轻薄、快速响应、高对比度等优异特性，现已得到了实际应用。据说有机EL显示器若要实现更高的性能，则需要开发难度比红色(R)、绿色(G)更高的蓝色(B)有机EL材料的技术创新，本公司具有卓越的蓝色发光特性的蓝色有机EL材料自开发以来就一直大受关注。本公司的蓝色有机EL材料已被用于智能手机面板用途，为了今后也能一直成为让客户满意的“有机EL的JNC”，我们将继续精神饱满地推进更高性能有机EL材料的开发。

印刷电子

基于在感光材料和聚酰亚胺材料的开发过程中积累的技术能力和见识，我们开发和制造光固化材料和聚亚酰胺材料，它们均支持作为下一代制造技术引起广泛关注的喷墨印刷、柔性版印刷及丝网印刷等可图案化的印刷方法。适用对象有用于印刷线路板和触控屏的绝缘材料、可以用于电容器和半导体制造工艺的加工材料等。光固化材料不仅可以根据用途赋予各种各样的功能，还是一种不含溶剂的材料，因此，具有不易损坏适用对象的基材、环境负荷小的特点。聚酰亚胺材料不仅可以实现基于固体成分高浓度化的厚膜印刷，还具有耐热性和绝缘性好的特点。

有机硅产品

有机硅产品由3个产品群组成。超耐热、高透明材料(Sila-Dec®)，衍生自本公司独创的笼型硅氧烷，被用于制造LED周边材料；有机硅大分子单体(Silaplane®)，可利用卓越的分子量控制技术设计出梳形聚合物，被用于制造隐形眼镜、功能性涂膜剂等；硅烷偶联剂(Sila-Ace®)，凭借来自于高度精炼技术的高品质赢得了客户的高度信赖，被用于制造半导体、与电子器件相关的零配件。



エネルギー 環境

能源与环境

電力 [電力事業部]

水力発電

1906年の創業以来、水保製造所の主要エネルギー源は一貫して自社水力発電所の電力です。当社は、長期的な老朽化対策を施すことで、貴重な財産である水力発電所を100年以上にわたり大切に維持管理を行ってまいりました。今般FIT化対応のリニューアル工事を順次実施しています。

太陽光発電

当社は、これまでの発電に関する知識と経験を生かし、環境負荷の低減に寄与することが重要だと考えています。当社のコア事業である水力発電以外の発電方式にも取り組んでおり、現在は3カ所の太陽光発電所を保有しています。

電池 [研究開発本部]

負極材

当社はNanoGraf(米国)と共同で、家電から電気自動車に至るまでの広範な領域で、リチウムイオン電池の黒鉛負極材を代替するポテンシャルのある革新的な高エネルギー密度のSi負極材を開発しています。

現在の黒鉛負極材は372mAh/gの容量である一方、私たちの材料は1,000~2,500 mAh/g以上の容量を達成できるようカスタマイズ可能であり、高いエネルギー密度をもたらすことができます。さらに独自の製造プロセスにより、急速な充電の為に迅速なイオン拡散が可能な構造を達成します。ますます増加する高出力や充電安定性に関する消費者の要求にお応えします。

環境保全 [JNCエンジニアリング株式会社 株式会社アール・ビー・エス]

自然浄化法リアクターバイオシステムは、土壌中に生息する土壌菌群の働きを活用した汚水浄化システムです。

高濃度BOD排水を無希釈で処理し、悪臭を抑制するだけでなく、汚泥を肥料化し、リサイクル資源として活用することができます。

JNCの持つノウハウを活かし、再生可能エネルギーの拡大に向けて、新たな社会を目指します。環境負荷低減を実現する製品・技術、時代の先を見据えた研究開発により国内外への展開を進めています。

发挥JNC的技术优势，为扩大可再生能源，致力于创建新社会。通过减少环境负荷的产品与技术，看准时代最尖端的研究与开发，面向日本国内外发展各项事业。

電力 [电力事业部]

水力发电

自1906年创业以来，水保制造所的主要能源一直都是自家公司水力发电站的电力。本公司通过采取长久性防老化措施，在长达百年之余的岁月里，精心维护和管理着我们的贵重财产——水力发电站。目前，我们为因应FIT化正在依次实施水力发电站的翻新改造工程。

太阳能发电

我们认为运用迄今为止积累的有关发电的知识与经验，为减轻环境负荷做贡献是非常重要的。除了本公司核心事业的水力发电之外，我们还在研究发电方式，目前已拥有三个太阳能发电站。

電池 [研究开发总部]

负极材料

本公司正与美国NanoGraf公司携手开发创新型高能量密度的Si负极材料，该材料很有潜力，从家用电器到电动汽车，可在广泛领域之中替代锂离子电池的石墨负极材料。

现有石墨负极材料的理论容量为372 mAh/g，而我们的材料可根据客户需求定制成1,000-2,500 mAh/g以上的容量，能实现更高的能量密度。此外，通过独家开创的制造流程，达到了为能快速充电而快速进行离子扩散的稳定结构。当前，客户对高功率和充电稳定性的需求日益增加，我们也将努力回应客户的这些需求。

环境保护 [JNC ENGINEERING Co.,Ltd. RBS Co.,Ltd.]

自然净化法反应器系统是一种利用栖息在土壤中的土壤细菌群的活性来净化污水的系统。

该系统以不稀释高浓度BOD污水的方法进行处理后，不仅能抑制恶臭，还能将污泥变成肥料，这类肥料可作为回收资源进行有效的利用。



加工品

加工品

原料である樹脂レベルの研究から生まれた
繊維製品や樹脂加工品など、
暮らしのあらゆるシーンで
JNCの製品は使われています。

繊維製品と樹脂加工品等
源自钻研还停留在树脂层面的原料，
而如今，JNC的这些产品被用于
日常生活的方方面面。

繊維・不織布製品 [繊維事業部 ESファイバービジョンズ株式会社]

当社は「ES繊維」として知られるポリオレフィン系熱接着性複合繊維の商業生産に世界で初めて成功したポリオレフィン系繊維メーカーのパイオニアです。

現在「ES繊維」は、インドラマベンチャーズとの合併であるESファイバービジョンズを通じて、全世界で販売されています。

また「ES繊維」を原料としたエアスルー不織布「EsSoft®」(エスソフト)は、嵩高で、柔らかい風合いが特徴であり、紙おむつや生理用品、フィルター等生活に欠かせない製品に広く用いられています。当社は、中国、タイ、日本の生産拠点から、拡大を続けるアジアの衛生材料市場の旺盛な需要に対応しています。

マスク [繊維事業部]

当社はCOVID-19による日本製マスクの需要の高まりに応えるため、2020年に生産を開始しました。

当社のマスクは、自社で生産するエアスルー不織布とメルトブロー不織布を用いており、柔らかさと通気性の高さが特徴です。

また当社は、ODM(Original Design Manufacturing)も行っています。原料から一貫した生産開発体制は、ワンストップサービスを実現し、コットン混、弱酸性、抗菌性等の機能付与など、お客様の様々なニーズに対応しています。

肥料 [ジェイカムアグリ株式会社]

当社の肥料事業は2009年に設立したジェイカムアグリ株式会社で行っています。

主な製品には、高度化成肥料・コーティング肥料・コーティング複合肥料があり、その他緩効性肥料のCDU®・IBDU®、園芸用培土(与作®)、水稲用の培土があります。

特にコーティング肥料は樹脂のコーティングにより肥料成分の溶出をコントロールできる高機能、高付加価値の肥料です。コーティング肥料を使用することで1回の施肥で済むため省力化につながるほか、環境水質への負荷の軽減に役立つ肥料として非常に高い評価をいただいています。

樹脂加工品 [JNC開発株式会社 オージェイ株式会社]

プラスチック加工分野における生活・農業・水産用途等の資材製品を生産しています。フィルム、樹脂袋、PPシート、海苔簀、各種成型品などのプラスチック製品など、より加工性の高い製品を揃えています。

フィルター [JNCフィルター株式会社]

エレクトロニクス、自動車、機械金属、プール水処理、フードヘルスケア分野など、あらゆる産業の製造プロセスに使用される高機能フィルターを製造しています。また、製品歩留まり改善・製造環境改善・管理工数削減が実現できる、Quick-PackやカプセルーRPなどの新規開発製品をラインナップし、多様なニーズに応えるフィルターの開発も行っています。

繊維・无纺布产品 [纤维事业部, ES FIBERVISIONS Co.,Ltd]

本公司在世界上首次将以“ES纤维”而闻名的聚烯烃系热粘合复合纤维成功地推向商业化生产,可以说是聚烯烃系热粘合复合纤维的领航者。

目前,“ES纤维”原棉正通过与Indrama Ventures合资建立的ES FIBERVISIONS,在全球范围内拓展业务。

此外,以“ES纤维”为原料的热风粘合无纺布“EsSoft®”具有蓬松性和手感柔软的特点,被广泛用于生产纸尿裤、生理用品、过滤器等日常生活中不可或缺的产品。我们通过中国、泰国和日本的生产基地,向不断扩大的亚洲卫生材料市场提供能满足客户强烈需求的产品。

口罩 [纤维事业部]

为满足因COVID-19而高涨的对日本产口罩的需求,本公司已于2020年开始相关生产。

本公司口罩使用自家生产的透气无纺布和熔喷无纺布,具有柔软性和透气性好的特点。

此外,本公司也进行ODM(Original Design Manufacturing,原始设计制造)。从原料开始的一条龙生产开发体制可以实现一站式服务,满足客户各种各样的需求,例如棉混纺、弱酸性、添加抗菌性等功

肥料 [JCAM AGRIC. CO., LTD.]

本公司的肥料事业由2009年创办的杰康农业(JCAM AGRIC. CO., LTD.)负责开展。

主要产品有高浓度复合肥料、包膜肥料、包膜复合肥料,其他缓效肥料有CDU®和IBDU®,此外还有用于园艺的培土(与作®)和用于水稻种植的培土。

尤其是其中的包膜肥料是一种具有高功能、高附加值的肥料,它采用了以树脂包裹肥料的方法,能够有效控制肥料成分的释出。通过使用这种包膜肥料,只施一次肥即可满足农作物的养分需求,不仅能省力还能减轻环境负担,因此作为环保肥料赢得了客户的高度好评。

树脂加工品 [JNC开发株式会社, OJK CORPORATION]

树脂加工品是指生产塑料加工领域的产品,其主要产品为用于生活、农业和水产业等方面的薄膜、树脂袋、PP片材、海苔簀(制干海苔的用具),以及各种成型品等塑料产品,种类非常齐全。

过滤器 [JNC FILTER Co., Ltd.]

本公司生产高功能过滤器,其产品被用于电子、汽车、机械五金、泳池水处理、食品以及医疗保健领域等所有产业的制造过程之中。目前,Quick-Pack和capsular RP等,能够提高产品成品率、改善生产环境、减少管理工时的新开发产品已被添加到产品阵容之中。此外,我们致力于开发能够回应多样化需求的过滤器。



化学品

化学品

化学品 [化学品事業部有機化学品部]

溶剤・工業材料

オキシアルコールは可塑剤をはじめ、塗料・接着剤の合成樹脂の製造に使用されるなど、用途は多岐にわたっていて、わたしたちの快適な暮らしづくりに貢献しています。また、溶剤は自動車用塗料や建材用塗料に用いられ、暮らしの様々なシーンに鮮やかな彩りを創り出しています。

塗料・接着剤添加剤

CS-12はエマルジョン塗料及び接着剤の造膜助剤として優れた性能を発揮します。CS-16は壁紙やフローリングなどのペースト塩化ビニル製品の原料となる可塑剤として使用されています。

有機合成原料・香料原料

当社の有機合成原料は、電子材料・樹脂や医薬・農薬などのさまざまな分野で利用されています。また、当社ならではの有機合成技術により、グリーンノートなど多彩な香料原料を開発し、化粧品からトイレタリー製品や芳香剤等のフレグランス、食品・清涼飲料水等のフレーバーにいたるまで、生活の幅広い分野に利用されています。

ポリビニルホルマール樹脂 (ビニレック®)

エナメル線用ワニスとして世界的に使用されています。機械的強度の優秀さ・硬化皮膜の再現性の容易さ、耐水性などの化学的耐性に優れる点から長年にわたり使用され続けています。その他、構造物接着剤、航空機、ガラス繊維収束材など特殊接着剤としての用途、特殊塗料用途にも広く使用されています。

ライフケミカル製品 [ライフケミカル事業部]

ライフケミカル製品が応用されている分野は、バイオ医薬・食品・トイレタリー・化粧品・微生物検査・人の診断薬など多岐にわたっています。

合成樹脂ライセンス [化学品事業部ライセンス部]

1906年の創業以来、当社は独自の技術開発や、様々な分野における研究開発の歴史を通じて、リーディングポジションを維持してきました。当社は下記の洗練された技術を、世界中にライセンスしています。

- ・ポリ塩化ビニルプロセス
- ・脱モノマープロセス

石油化学製品は、私たちの身近なところで快適な暮らしづくりに貢献しています。

また、バイオ技術を駆使した特長ある製品展開や、石油化学製品の技術ライセンスも行っています。

我们的石油化学产品，就在大家身边，为营造舒适的生活环境做出贡献。我们还发挥生物技术优势拓展特色产品，并进行有关石油化学产品的技术授权。

化学品 [化学品事業部有機化学品部]

溶剤・工業材料

炭基醇被用于生产增塑剂、涂料和黏合剂的合成树脂等产品，其用途广泛，为我们营造舒适的生活环境做出了贡献。此外，溶剂被用于生产汽车涂料和建材涂料，为日常生活中的各种场面增添了鲜艳的色彩。

塗料・黏合剤添加剤

CS-12作为乳化涂料和黏合剂的成膜助剂能够发挥出色的性能。CS-16被用作增塑剂，它是用于生产墙纸和地板等的糊状氯乙烯产品的原料。

有機合成原料・香料原料

本公司的有机合成原料被用于电子材料和树脂、医药和农药等各种领域。此外，运用本公司特有的有机合成技术，研制出的绿香调等丰富多彩的香料原料，从化妆品到洗漱用品和芳香剂等产品的香料、食品和清凉水等产品的香精，被用于日常生活中的广泛领域。

聚乙烯醇缩甲醛树脂 (VINYLEC®)

在世界范围内被用作漆包线漆。具有机械强度优异、固化皮膜的再现性好、耐水性等耐化学性优异的特点，因此多年来一直被使用。此外，VINYLEC®的用途十分广泛，不仅作为特殊黏合剂被用于结构黏合剂、飞机、玻璃纤维集束材料等，还被用于特殊涂料。

生命化学产品 [生命化学事業部]

生命化学产品的应用涉及到多方面的领域，其中包括生物制药、食品、洗漱用品、化妆品、微生物检验、人的诊断药等。

合成樹脂技術授權 [化学品事業部授權部]

自1906年创业以来，本公司凭借独家的技术开发和面向多领域的研发业绩，一直保持着世界领先地位。本公司针对下列的精湛技术，面向世界各地进行技术授权。

- ・聚氯乙烯的生产工艺
- ・氯乙烯单体的脱除工艺



研究開発

日本の化学産業のバイオニア

研究与开发

日本化学产业的领航者

これまで、これからも

「電気化学の父」とも称される創業者の野口遵は、常に時代の流れを読み、1923年に世界で初めてカザレー法による合成アンモニアの製造に成功、1941年には塩化ビニル樹脂の製造を開始するなどニーズに即応した技術や製品を世の中に送り出してきました。

私たちは、そのバイオニア精神の遺伝子を受け継ぎ、戦後、オクタノールやDOP、高度化成肥料、超高純度金属シリコンを日本で初めて生産するなど常に日本の化学産業をリードしてきました。

そして現在はこれからますます多様化・高度化する社会のニーズに対応するため、「高度情報社会を実現する電子情報技術関連」、「化石燃料の資源枯渇・地球温暖化に対応したエネルギー関連」、「生活を豊かにするライフケミカル関連」における研究開発に注力しています。

私たちは常に、社会貢献意識を高く持ち、夢の実現に向け、研究開発を推進してまいります。

至今为止，从今以后

具有“电气化学之父”之称的创业者野口遵，随时把握时代潮流，不断将顺应客户需求的新技术和新产品推向全球市场，例如，于1923年在世界上首次成功地采用卡萨勒法制造了合成氨，并于1941年开始了氯乙烯树脂的制造。

我们继承他的开拓精神，二战以后，在日本最先开始生产辛醇、DOP、高浓度复合肥料、高纯度金属硅等产品，并一直在引领日本的化学产业。

目前，为了回应日趋多样化、高功能化和高性能化的社会需求，我们致力于“有关能实现高度信息社会的电子信息技术”、“有关能解决化石燃料资源枯竭和地球变暖问题的能源”、“有关能让人们过上富庶生活的生命化学”的研究与开发。

我们一直抱着要为社会做贡献的高度责任意识，为实现我们的梦想，努力促进有关新技术和新产品的研究与开发。

ノーベル賞受賞の優れた技術がいきる

2010年ノーベル化学賞を受賞した「鈴木-宮浦カップリング反応および根岸反応」は、当社の液晶化合物・有機EL化合物の開発・製造に幅広く応用されています。

当社は、反応条件の最適化と生産性向上を目指し、液晶化合物の安定製造を実現させてまいりました。

これからも、反応条件の改良を進め、さらなる環境負荷低減とコスト改善を目指してまいります。

获得诺贝尔奖的优异技术正在发扬光大

获得2010年诺贝尔化学奖的“铃木-宫浦偶联反应和根岸反应”被广泛应用于本公司的液晶化合物、有机EL化合物的研发和制造。

本公司以优化反应条件和提高生产效率为目标，经过不懈的努力实现了液晶化合物的稳定生产。

今后，我们将继续改进反应条件，争取达到进一步削减环境负荷和降低生产成本的目标。

CSR

経営戦略に融合したCSRで

社会との共存を

CSR

通过融入经营战略的CSR
谋求与社会的共存

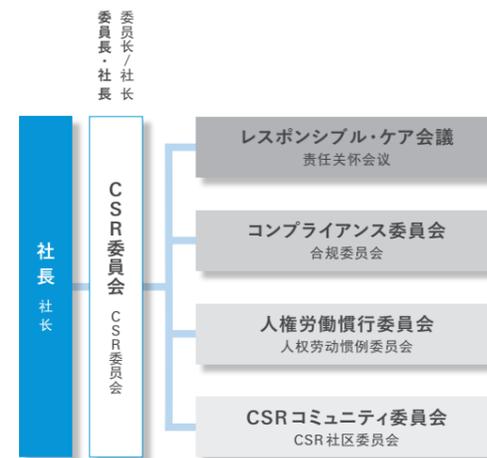
SDGs(持続可能な開発目標)への

取り組み

JNCグループでは2018年度より「JNCは、SDGsを世界共通の目標と認識し、企業活動を通じて、その達成に貢献していく」と取り組み方針を決定し、取り組みを実施しています。

为实现SDGs(可持续发展目标)所采取的举措

JNC集团自2018年度起，制定“JNC将SDGs视为世界共同的目标，通过企业活动为达到这一目标做出贡献”的行动方针，并采取了一系列举措。



CSR基本理念

JNCグループは「地球環境の保全」、「安全の維持」、「安全な製品の供給」、「企業倫理意識の徹底」、「社会との率直な対話」をCSR活動の基本理念に据え、社会に有用な製品・サービスを供給し続けることで、社会の持続的な発展に貢献します。

CSR基本理念

JNC集团把“保护地球环境”、“维护安全”、“提供安全产品”、“深化企业伦理意识”、“与社会进行坦率对话”作为CSR活动的基本理念，通过不断向社会提供有用的产品和服务，为社会的持续发展做贡献。

CSR基本方針

JNCグループは、2013年4月にCSR基本理念を定め、CSR活動をスタートしました。そして、同年7月にCSR基本方針をCSR委員会での審議を経て決定しました。私たちは、これをグループ全体で共有し、行動してまいります。

CSR基本方針

JNC集团于2013年4月确定CSR基本理念，启动了CSR活动。同年7月，经CSR委员会审议通过CSR基本方针。我们把该方针作为JNC集团全体员工的共识，并付诸行动。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 地球環境の保全 | 1. 保护地球环境 |
| 2. 安全の維持 | 2. 维护安全 |
| 3. 安全な製品の供給 | 3. 供应安全产品 |
| 4. 企業倫理意識の徹底 | 4. 贯彻企业道德意识 |
| 5. 社会との率直な対話 | 5. 与社会坦诚对话 |
| 6. 働きがいのある職場づくり | 6. 创造富有工作价值的职场 |
| 7. 社会貢献活動の推進 | 7. 推进社会公益活动 |

CSR推進体制

社長を委員長とするCSR委員会は、CSR推進の方針、目標、および中核主題に係る重要事項を審議・決定し、進捗状況の確認と効果の検証を行うことで、全体の調整を図りながら活動を推進します。

CSR推進の中核となる「レスポンシブル・ケア会議(RC会議)」、「コンプライアンス委員会」、「人権労働慣行委員会」、「CSRコミュニティ委員会」では、各々の活動の推進に責任を持ち、方針・目標を決定、進捗状況の確認や各種事項の審議・決定を行い、その内容をCSR委員会に報告します。

CSR推進体制

CSR委員会以社长为委员长，对CSR推进的方针、目标、以及与核心主题相关的重要事项进行审议并作出决定，确认活动的进展情况，检验活动效果，以此进行整体调整，推动活动进程。

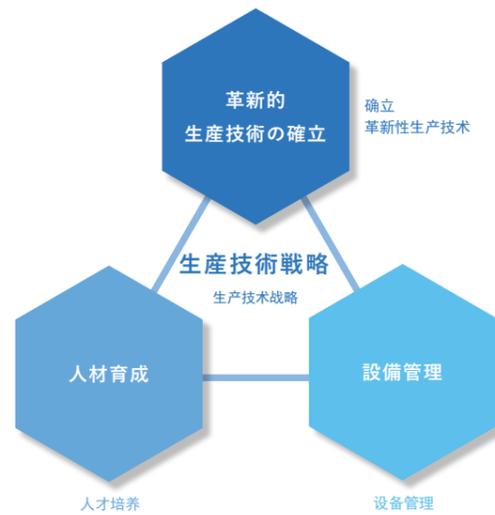
作为CSR推进工作的核心，“责任关怀会议(RC会议)”、“合规委员会”、“人权劳动惯例委员会”、“CSR社区委员会”负责促进各项活动的开展，确定方针和目标，确认进展情况，对各类事项展开审议、作出决定，并向CSR委员会汇报其内容。



生産技術

革新的生産技術の確立をめざして

生产技术
以确立革新性生产技术为目标



生産技術力の強化

生産技術戦略として、【独自技術の構築】および【既存プロセス改善による生産性向上】を図るべく、「Σ(SiGMA)活動」※1を全社で取り組み、生産技術力の強化を図っています。

これには二つの目的があります。一つ目は新規事業創出のための新技術開発、二つ目は新技術導入による設備競争力向上です。現在の技術・技能に満足せず、お客様の要求事項にマッチした技術・技能へ磨き上げる事により、競争力のある生産体制の確立を推進しています。

※1 :Σ(SiGMA)活動:Sustainable Innovation for Global Manufacturing Advantage

強化生产技术能力

生产技术战略方面，为【构建独创技术】和【通过改善现有工艺提高生产率】，全公司正致力于“Σ(SiGMA)活动”※1，力求强化生产技术能力。

其中有两个目标。其一，开发创造新事业的新技术；其二，通过引进新技术来提高设备竞争力。我们不满足于当前的技术和技能，而是要实现满足客户要求事项的技术和技能，藉此来帮助建立一个具有竞争力的生产体制。

※1 :Σ(SiGMA)活动:Sustainable Innovation for Global Manufacturing Advantage

生産技術者育成と技術の伝承

ものづくりの基本教育から環境・安全・品質に関する教育、化学工学教育、エンジニアリング研修等、生産技術者の育成と技術の伝承を目的に全社教育プログラムを進めています。

また、近年はデジタル革新としてデータ解析技術による課題解決力の向上を目標に、品質工学教育を通じた現場課題解決への取り組みや、データサイエンティスト育成にも取り組み、社員のデータハンドリングスキル向上を推進しています。

生产技术人员的培养与技术传承

我们以生产技术人员的培养和技术传承为目的开展着全公司教育计划，包括生产活动的基本教育、有关环境/安全/品质的教育、化学工学教育、工程学培训等。

此外，近年来还在数字创新方面将利用数据分析技术来提高课题解决能力作为目标，推行通过品质工学教育来解决现场课题的措施，努力培养数据科学家，并促进员工数据处理技巧的提高。

設備管理

設備の安全・安定運転は、環境保全・労働安全衛生・品質保証に繋がります。そのため、設備に起因するロス・リスクを低減しトラブルを防止する設備管理は極めて重要です。定期的な検査や整備をする予防保全、異常な兆候を察知する予知保全、トラブルが起きた際の対処かつ再発防止の事後保全にIoTやAIなどの新たな技術を導入しながら業務の高度化を進めています。

保全技術の向上を図りながら設備保全管理システムを活用し、より信頼性の高い設備を実現しています。

设备管理

设备的安全稳定运行与环境保护、劳动安全卫生及品质保证息息相关。因此，降低设备引起的损失和风险并防止故障的设备管理极其重要。我们在进行定期检查和维修的预防保养、发现异常征兆的预知保养、发生故障时的处理及防止再次发生的事后保养中引进IoT、AI等新技术的同时，不断推进业务的先进化。

我们在努力提高保养技术的同时有效利用设备保养管理系统，实现了可靠性更高的设备。

RC活動

「安全常に」をモットーに
RC活動を推進

RC活动

以“随时保证安全”为宗旨
推进RC活动扎实开展



基本理念

当社は、常に社会のニーズに応え、且つその発展に寄与すべく、次の基本認識の上において事業活動を推進する。

1. 地球環境の保全は、人類の幸福のための条件である。
2. 安全は、会社の存続と社会貢献の基盤である。
3. 安全な製品の供給は、企業の社会的責任である。
4. 社会からの理解と信頼を得るには、率直な対話が不可欠である。

基本理念

为了随时回应社会的需求，促进社会发展，本公司基于以下基本认识，开展各项事业活动。

1. 保护地球环境是实现人类幸福的前提条件。
2. 安全是公司的存续及社会贡献的基础。
3. 提供安全产品是企业的社会责任。
4. 要得到社会的理解和信赖，就必须与社会进行坦率的对话。

レスポンスブル・ケア方針

レスポンスブル・ケア(RC)とは「化学品を取り扱う企業が、化学品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るすべての過程において、環境・健康・安全を確保し、その成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行う自主活動」です。

责任关怀方针

所谓责任关怀(RC)是指“经营化学品的企业在从化学品的开发到制造、物流、使用、经最终消费后被废弃的整个过程中，确保环境、健康和安安全，并公布其成果，与社会进行对话和交流的自主性活动”。

PDCAサイクル

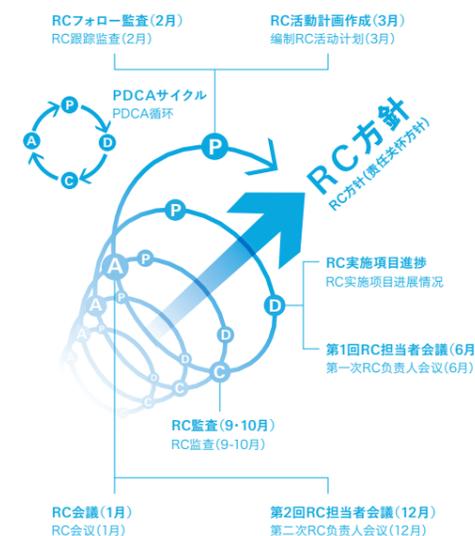
JNCグループではRC活動推進のため、社長を議長とする「RC会議」を開催し、RC活動計画の審議や承認を行うほか、PDCAサイクルの進捗を確認しています。

また、RC会議の下部組織として各事業場担当者による「RC担当者会議」を設置しています。

PDCA 循環

为了推进RC活动，JNC集团不仅召开由社长担任议长的“RC会议”，审议并批准RC活动计划，还确认PDCA循环的进展情况。

此外，作为RC会议的下级组织，还设置了由各事业场所经办人构成的“RC负责人会议”。

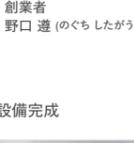
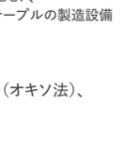


会社概要

公司概要

商号	JNC株式会社
創業	1906年1月12日
設立	2011年1月12日
資本金	311億5,000万円
代表者	代表取締役社長 山田 敬三（やまだ けいぞう）
持株会社	チッソ株式会社

沿革

明治39年	曾水電気株式会社設立	
明治41年	日本窒素肥料株式会社に改称、水俣工場で空中窒素固定法による石灰窒素の製造開始	
大正12年	世界で初めてカザレー式合成アンモニアの製造開始	
昭和2年	朝鮮窒素肥料株式会社設立、世界最大規模の化学コンビナート興南工場設立	
昭和16年	塩化ビニルの製造開始	
昭和25年	新日本窒素肥料株式会社として新たなスタート	
昭和27~28年	オクタノール、DOP、アセテートステープルの製造設備完成	
昭和30年	高度化成肥料の製造設備完成	
昭和34年	高純度金属シリコンの製造設備完成	
昭和37年	チッソ石油化学株式会社設立（現JNC石油化学株式会社）	
昭和38年	チッソポリプロピレン株式会社（現JNCファイバース株式会社）設立	
昭和40年	チッソ株式会社に改称	
昭和44年	高密度ポリエチレンの製造設備完成、オクタノール（オキソ法）、DOPの製造設備完成	
昭和48年	液晶の製造設備完成	
昭和49年	熱接着性複合繊維（ES繊維）の製造設備完成	
昭和56年	肥効調節型肥料（LPコート）、球状セルロースゲル（セルファイン）の製造設備完成	
昭和62年	気相法ポリプロピレン製造設備完成	
平成6年	広州ES繊維有限責任会社設立（現広州ES繊維有限公司）	
平成9年	五井リクソンセンター（液晶ブレンド工場）完成	
平成11年	台湾智索有限公司設立（現台湾捷恩智股份有限公司）	
平成15年	日本ポリプロ株式会社（ポリプロピレン事業統合会社）設立	
平成16年	智索国際貿易（上海）有限公司設立（現捷恩智（上海）企業管理有限公司）	
平成18年	チッソ韓国株式会社設立（現韓国JNC株式会社）	
平成18年	創立100周年	
平成21年	ESファイバービジョンズ株式会社設立	
平成22年	ジェイカムアグリ株式会社設立	
平成22年	智索無紡材料（常熟）有限公司設立（現捷恩智無紡材料（常熟）有限公司）	
平成23年	JNC株式会社設立	
平成23年	JNC NONWOVENS (THAILAND) CO., LTD. 設立	
平成26年	捷恩智液晶材料（蘇州）有限公司設立	
平成29年	台湾ディスプレイ技術センター設置	
令和2年	マスク用不織布およびマスク生産開始	
令和3年	JNC株式会社設立10周年	

Name	JNC CORPORATION
Founded	January 12, 1906
Established	January 12, 2011
Paid-in capital	31.15 billion yen
Representative	Keizo Yamada (CEO & President)
Holding Company	CHISSO CORPORATION

发展历程

1906	曾水電気株式会社成立
1908	更名为日本窒素肥料株式会社，在水俣工厂采用大气氮素固定法开始制造石灰氮
1923	在世界上最先采用卡萨勒法开始制造合成氨
1927	朝鮮窒素肥料株式会社成立，设立世界最大規模の化工聯合企業“兴南工厂”
1941	开始制造氯乙烯
1950	以新日本窒素肥料株式会社为名，开启了新篇章
1952~1953	辛醇、DOP、醋酸短纤的生产设备安装完毕
1955	高浓度复合肥料的生产设备安装完毕
1959	高纯度金属硅的生产设备安装完毕
1962	CHISSO PETROCHEMICAL CORPORATION 成立（现在的JNC石油化学株式会社）
1963	CHISSO POLYPRO FIBER Co., Ltd. 成立（现在的JNC FIBERS CORPORATION）
1965	聚丙烯和聚丙烯纤维的生产设备安装完毕
1969	更名为CHISSO CORPORATION
1973	高密度聚乙烯的生产设备安装完毕，辛醇（羰基合成法）和DOP的生产设备安装完毕
1974	液晶的生产设备安装完毕
1974	热粘合复合纤维（ES纤维）的生产设备安装完毕
1981	肥效调节型肥料（LP COTE）和球状纤维素凝胶（Cellufine）的生产设备安装完毕
1987	气相法聚丙烯的生产设备安装完毕
1994	广州艺爱丝纤维有限责任公司成立（现在的广州艺爱丝纤维有限公司）
1997	Goi LIXON Center（液晶共混工厂）完工
1999	台湾智索有限公司成立（现在的台湾捷恩智股份有限公司）
2003	JAPAN POLYPROPYLENE CORPORATION（将聚丙烯业务一体化的公司）成立
2004	智索国际贸易（上海）有限公司成立（现在的捷恩智（上海）企业管理有限公司）
2004	CHISSO KOREA Co., Ltd. 成立（现在的韩国JNC株式会社）
2006	创建100周年
2006	ES FIBERVISIONS Co., Ltd. 成立
2009	JCAM AGRI. CO., LTD. 成立
2010	智索无纺材料（常熟）有限公司成立（现在的捷恩智无纺材料（常熟）有限公司）
2011	JNC株式会社成立
2011	JNC Nonwovens (Thailand) Co., Ltd. 成立
2014	捷恩智液晶材料（苏州）有限公司成立
2017	在台湾设立JNC显示技术中心
2020	开始生产口罩用无纺布以及口罩
2021	JNC株式会社成立10周年

事業拠点 国内

事业基地 国内

01	本社 〒100-8105 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル TEL. 03-3243-6760(代) FAX. 03-3243-6960	Head Office Shin Otemachi Bldg, 2-2-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8105 PHONE. +81-3-3243-6760 FAX. +81-3-3243-6960
02	大阪事務所 〒530-6108 大阪府大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル TEL. 06-6441-3253(代) FAX. 06-6441-3279	Osaka Office NAKANOSHIMA DAIBIRU, 3-3-23 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-6108 PHONE. +81-6-6441-3253 FAX. +81-6-6441-3279
03	横浜研究所 〒236-8605 神奈川県横浜市金沢区大川5-1 TEL. 045-786-5501(代) FAX. 045-786-5511	Yokohama Research Center 5-1, Okawa, Kanazawa-ku, Yokohama, Kanagawa 236-8605 PHONE. +81-45-786-5501 FAX. +81-45-786-5511
04	水俣製造所 イノベーションセンター JNC石油化学(株) 水俣工場 〒867-8501 熊本県水俣市野口町1-1 TEL. 0966-63-2116(代) FAX. 0966-62-1230	Minamata Factory Innovation Center JNC PETROCHEMICAL CORPORATION Minamata Factory 1-1, Noguchi-cho, Minamata, Kumamoto 867-8501 PHONE. +81-966-63-2116 FAX. +81-966-62-1230
05	JNC石油化学(株) 市原製造所 ・リクソンセンター ・市原研究所 〒290-8551 千葉県市原市五井海岸5-1 TEL. 0436-21-5111(代) FAX. 0436-23-1143	JNC PETROCHEMICAL CORPORATION Ichihara Factory ・LIXON Center ・Ichihara Research Laboratories 5-1, Goikaigan, Ichihara, Chiba 290-8551 PHONE. +81-436-21-5111 FAX. +81-436-23-1143
06	JNC石油化学(株) 四日市工場 〒510-0011 三重県四日市市霞1-21 TEL. 059-363-3581(代) FAX. 059-363-3825	JNC PETROCHEMICAL CORPORATION Yokkaichi Plant 1-21, Kasumi, Yokkaichi, Mie 510-0011 PHONE. +81-59-363-3581 FAX. +81-59-363-3825
07	JNCファイバース(株) 守山工場 JNCファイバース(株) 繊維開発センター 〒524-0001 滋賀県守山市川田町230 TEL. 077-582-3575(代) FAX. 077-583-5876	JNC FIBERS CORPORATION Moriyama Plant JNC FIBERS CORPORATION Fiber Research Center 230, Kawada-cho, Moriyama, Shiga 524-0001 PHONE. +81-77-582-3575 FAX. +81-77-583-5876
08	九州化学工業(株) 戸畑工場 JNCマテリアル(株) 戸畑工場 〒804-0002 福岡県北九州市戸畑区大字中原先ノ浜46-94 TEL. 093-882-2122(代) FAX. 093-882-2127	KYUSHU CHEMICAL INDUSTRY Co., Ltd. JNC MATERIAL Co., Ltd. 46-94, Sakinohama, Nakabaru, Tobata-ku, Kitakyushu, Fukuoka 804-0002 PHONE. +81-93-882-2122 FAX. +81-93-882-2127

グループ会社紹介 集团公司简介

JNC石油化学株式会社 JNC PETROCHEMICAL CORPORATION

市原製造所	Ichihara Factory
液晶化合物、その他化学製品の製造	液晶化合物、其他化学产品的制造
四日市工場	Yokkaichi Plant
ポリプロピレン樹脂の製造	聚丙烯树脂的制造
水俣工場	Minamata Factory
液晶化合物の製造	液晶化合物的制造

JNCファイバース株式会社 JNC FIBERS CORPORATION

守山工場	Moriyama Plant
ポリプロピレン繊維、複合繊維、不織布の製造	聚丙烯纤维、复合纤维、无纺布的制造

九州化学工業株式会社 KYUSHU CHEMICAL INDUSTRY Co., Ltd.

戸畑工場	Tobata Plant
化学肥料、その他化学製品の製造	化学肥料、其他化学产品的制造

JNCマテリアル株式会社 JNC MATERIAL Co., Ltd.

戸畑工場	Tobata Plant
電子情報材料の製造	电子信息材料的制造

日本ポリプロ株式会社 JAPAN POLYPROPYLENE CORPORATION

ポリプロピレン樹脂の製造、販売、研究・開発	聚丙烯树脂的制造、销售、研究与开发
-----------------------	-------------------

京葉ポリエチレン株式会社 KEIYO POLYETHYLENE Co., Ltd.

高密度ポリエチレン樹脂の販売	高密度聚乙烯树脂的销售
----------------	-------------

シージーエスター株式会社 CG ESTER CORPORATION

可塑剤の製造、販売	增塑剂的制造、销售
-----------	-----------

ESファイバerveジョンズ株式会社 ES FIBERVISIONS Co., Ltd.

化学繊維の販売	化学纤维的销售
---------	---------

CSエナジーマテリアルズ株式会社 CS ENERGY MATERIALS Ltd.

リチウムイオン二次電池用部材の開発・製造・販売	锂离子二次电池所用材料的开发、制造、销售
-------------------------	----------------------

JNCフィルター株式会社 JNC FILTER Co., Ltd.

濾過材の製造・販売、濾過機器の設計・施工	过滤材料的制造与销售，过滤器的设计与施工
----------------------	----------------------

JNC開発株式会社 JNC KAIHATSU Co., Ltd.

樹脂袋、PPシート、海苔糞、発泡成型品などのプラスチック製品の製造	树脂袋、PP片材、海苔糞（制干海苔的用具）、发泡成型品等塑料产品的制造
-----------------------------------	-------------------------------------

オージェイケイ株式会社 OJK CORPORATION

樹脂包装資材の製造、販売	树脂包装材料的制造、销售
--------------	--------------

ジェイカムアグリ株式会社 JCAM AGRI. Co., Ltd.

肥料および床土資材の製造、販売	肥料和土壤床材料的制造、销售
-----------------	----------------

日祥株式会社 NISSHO Co., Ltd.

電子材料、合成樹脂、加工品などの化学製品、洗浄剤、生分解性樹脂、食品添加剤、住宅・建築用資材及び緑化資材等の売買	化工产品（电子材料、合成树脂和加工品等）、清洗剂、生物降解树脂、食品添加剂、住宅和建筑用材料以及绿化材料的买卖
--	---

千葉ファインケミカル株式会社 CHIBA FINE CHEMICAL Co., Ltd.

アタックポリプロピレン、特殊洗浄剤の販売、公害防止機器の販売、化学品などに関する調査・委託研究および化学製品の販売	无规聚丙烯、特殊清洗剂的销售；公害防止器具的销售；有关化学品等的调查和委托研究及化学产品的销售
---	---

JNCエンジニアリング株式会社 JNC ENGINEERING Co., Ltd.

化学、医薬、環境関連プラントの設計・施工およびメンテナンス、発電設備、物流システムの設計・施工	化学、医药、环境相关成套设备的设计、施工及维修；发电设备、物流系统的设计与施工
---	---

株式会社アール・ビー・エス RBS Co., Ltd.

一般廃棄物処理や産業廃棄物処理、肥料および土壌改良資材の製造、販売	一般废弃物处理和产业废弃物处理；肥料和土壤改良材料的制造、销售
-----------------------------------	---------------------------------

新興製機株式会社 SHINKO MACHINERY Co., Ltd.

水処理用チェーン、コンベアーチェーンなどの製造、販売	水处理用输送链、输送链等的制造、销售
----------------------------	--------------------

テクノインテリジェンスサービス株式会社

TECHNO INTELLIGENCE SERVICE Co., Ltd.

人材派遣および事務サービス、旅行業他	人才派遣和办公服务、旅游业等
--------------------	----------------

熊本オキシトン株式会社 KUMAMOTO OXYTON Co., Ltd.

圧縮および液化ガス、水素ガスなどの製造、販売	压缩气体和液化气体、氢气等的制造、销售
------------------------	---------------------

五井コストエナジー株式会社 GOI COAST ENERGY Co., Ltd.

天然ガス発電による電力供給および蒸気による熱供給	来自天然气发电的电力供应，来自天然气蒸汽的供热
--------------------------	-------------------------

事業拠点 海外 事业基地 海外



JNC株式会社

〒100-8105
東京都千代田区大手町2丁目2番1号
新大手町ビル9階
TEL: 03-3243-6760
FAX: 03-3243-6960

JNC CORPORATION

2-1 Otemachi, 2-chome,
Chiyoda-ku, Tokyo 100-8105 Japan
Phone: +81-3-3243-6760
Fax: +81-3-3243-6960



<https://www.jnc-corp.co.jp/>

この冊子に記載された会社名および一部の商品名は、JNC株式会社および関係各社の、日本およびその他の国における商号、商標または登録商標です。
無断転載を禁止します。

All company names and certain product names mentioned in this brochure are trade names, trademarks, or registered trademarks of JNC CORPORATION and affiliated companies in Japan and/or other countries. All rights reserved.



この印刷物から発生するCO₂はカーボンフリーコンサルティング社を通じてオフセットされています。